



東京都立六本木高等学校 学校だより

ROPPONGI

第3号 令和4年12月2日

挨拶にまつわること

東京都立六本木高等学校長 小宮 徳健

きらら祭も終わり、季節は冬となってきました。寒くなると暑さが恋しくなる人もいないでしょうか。寒さがほとんどない国や地域もありますが、皆さんはどこを思い浮かべますか。真っ先にハワイでしょうか。私も、そうした国や地域はどこと言われると、いくつかの国や地域を思い浮かびました。どんな国や地域かと思い、まず挨拶を調べてみると、アメリカ合衆国準州グアムや北マリアナのサイパンは、Hafa Adai (ハファ デイ)、フィジー共和国はBula (ブラ)、パラオ共和国はAlii (アリー)、ハワイ州は、Aloha (アロハ) です。また、こうした国の人たちは、どこの国の人であろうと、気さくに挨拶をかわすようです。

ところで、皆さんは、ハワイの挨拶であるAloha (アロハ) には、一文字ずつに古くから伝わる意味をもっていることを御存知でしょうか。アロハの

Aは、Akahai (アカハイ) 思いやりや優しさをもって考える。

Lは、Lōkahi (ローカヒ) 調和の中にしっかりと立つ。

Oは、Olūlu (オルル) 心地よさ、感情と共に思考のバランスをとる。

Hは、Ha'aha'a (ハッアハッア) 謙虚さを表す。

Aは、Ahonui (アホヌイ) 自立を学ぶ忍耐強さをもつ。

アロハにはハワイで古くから対人関係の大切さ、そして、今や日本では忘れてしまった大人もいる謙虚さや協調、心のやさしさなど、ポリネシアの人たちのスピリッツが詰まった挨拶なのです。

さて、私たちが普段使う、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」には、どのような意味があるか調べたことがありますか。これらの挨拶にもそれぞれ成り立ちや意味があります。私たちが古くから使われている挨拶の意味をかみしめ、お互いに気持ちを込めて挨拶をしてみませんか。

(参考：ALOHA PROGRAM ハワイ州観光局ラーニングサイト)

行事報告

【きらら祭】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2年続けて非公開、分散実施を余儀なくされたきらら祭も、ようやく今年度、範囲限定ながら、公開での一回開催実施に漕ぎつけた。公開範囲は、生徒の保護者、家族と、受験希望の中学3年生という制限はあったが、400名もの方々にご来場いただき、2年ぶりに華やいた雰囲気包まれた。

出展団体数は、コロナ禍の影響で縮小することもなく、38団体と、ほぼ例年並みであった。舞台発表、参加型イベント、作品展示の3部門とも、それぞれ工夫を凝らし、短い準備時間の中でもていねいな仕上がりとなっていた。残念ながら飲食団体の出展は今年度も見送られたが、徐々に従来の完全な形に戻つつある過渡期の出展として、どの団体もやれる範囲で一生懸命に取り組んでいる様子であった。

今年の全員参加企画は、HRなどでこつこつと作業を積み重ね、1人1人の心のこもった作品として玄関前で目を引いた。出展団体に参加しない生徒もきらら祭に足跡を残せるようにと、初期から継続しているこの全員参加企画が、ますますいろいろな形で発展していくことが来年度以降も期待される。

5月に活動開始した約40名の実行委員会は、毎月2回の全体会の他、部署ごとの打ち合わせや準備を重ねてきた。今年度も生徒の自主性が発揮され、上級生を中心にそれぞれの出来ることを分担し、各部署連携しながら組織として動くことができた。上級生は進路活動と同時進行で、大変忙しい毎日だったがよく両立させ、下級生をリードして頑張った。下級生は初めての仕事に戸惑いながらも、協力して務めを果たし、また来年も実行委員をやりたいという声が多数聞かれた。



【とうきょう総文】第2号のつづき

〈都美術館前の総文祭のぼり制作に参加〉

総文祭開催期間、全国からやってくる参加者を「47都道府県のぼり」で歓迎する、虹プロムナード企画に参加しました。六本木高校美術部は島根県を担当し、八岐大蛇の民話や出雲大社などをモチーフにのぼりを制作しました。



【卒業生のお話を聞く会】

大学、専門学校、就職とそれぞれの道を歩き始めた先輩方からお話を聞きました。

先輩からは「この学校でしっかり授業を受けていれば、大学でもついていけると思う。自信を持って」と後輩をほげます言葉や、「もしも、最初に受けた所が不合格となっても、あきらめないで」と、それぞれの苦い経験を乗り越えたからこそそのアドバイスがあり、生徒たちは熱心に進路ノートにメモを取って聞き入っていました。また、高校のうちにやっておいたほうがいいことは？という質問に対しては「検定をとっておく」「英語は特に役に立つので、がんばっておく。」などの具体的なアドバイスとともに、先輩方全員から共通して「高校生と言う時間を大切に使う」というメッセージがありました。

【研修旅行(2年次)】

京都・大阪方面に行ってきました。清水寺、金閣寺、USJ、大阪城などを巡りました。他に、伝統工芸品の作成、生徒企画のレクリエーション、座禅を体験しました。初めて都外に出る生徒や初めて家族以外の人と旅行に行く生徒など、始めは不安そうな顔をしていましたが、時間が経つにつれ楽しそうな表情に変わっていきました。宿泊体験を通して教養を深め、規範意識や友情を育むことができました。



【前期卒業式】

10月15日(土)キンモクセイの甘い香りが心地よく漂う中、前期卒業式が行われました。その花言葉は「控えめなさま」。この日に来られた少数の保護者、在校生、教職員らにあたたかく見守られながら、3名の卒業生が校長先生から卒業証書を受け取りました。今回、年次担任が手作りしたコサージュを胸に飾り、卒業生一人ひとりが家族へ綴ったメッセージを読み上げました。六本木高校での貴重な経験を活かし、これからも益々の活躍をお祈りいたします。

部活動の紹介

【天文部】

天文部には大きく分けて2種類の目的を持った活動があります。

ひとつは天文の魅力を伝える活動です。8月6日(土)と11月5日(土)に行われた「天文フェス」では六本木高校と南山小学校の児童・生徒・保護者を招き、屋上や天体観測室での天体観望の他、プラネタリウム上映、天文に関するゲームやクイズ、創作活動などを行いました。さら祭でのプラネタリウム上映もこの活動のひとつです。

もう一つは自分たち自身が天文の魅力をを感じる活動です。昼の太陽観測、土曜の夜を中心にした観測活動のほか、8月には長野での天体観測合宿(泊3日)、校内で朝まで流星群などを観測する活動を行っています。

自分たちで天文の魅力に気づきそれを伝える。喜んでくれる方がいると更に活動の意欲が生まれる。この2種類の活動は相乗効果によって天文部員を成長させています。

【バドミントン部】



令和4年度総合体育大会に臨みました。令和に入って初めて女子団体での参加！

団体戦は3位、ダブルスでも3位という成績をおさめました！悔しさと嬉しさという普段の生活ではなかなか味わえない経験ができたと思います。現在は次に向かって楽しく活動しています！